

資源株ファンド 通貨選択シリーズ

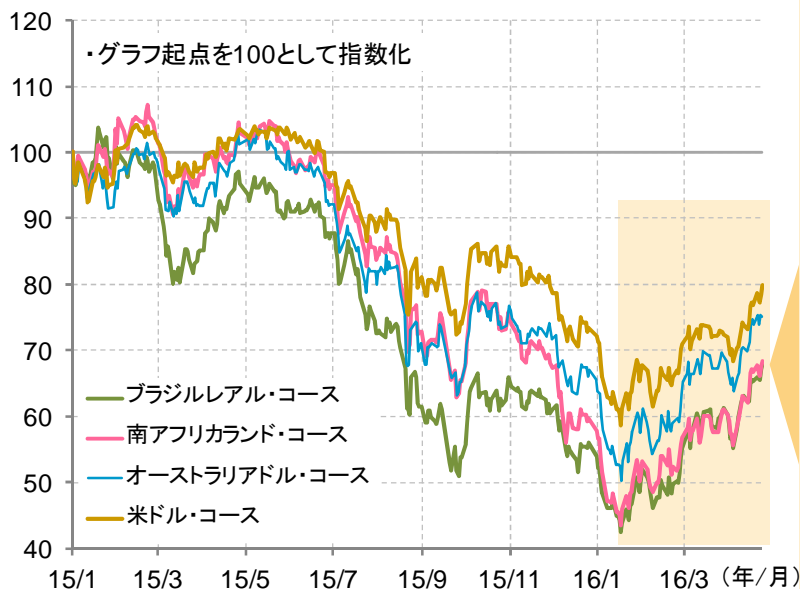
<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>
(毎月分配型)

需給改善期待の拡がりとともに 反発を強める原油価格

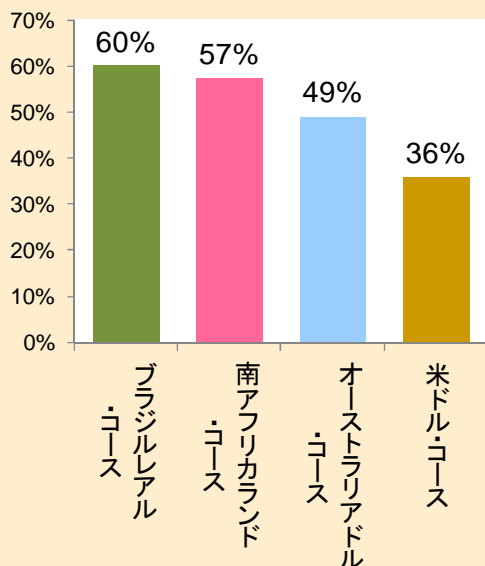
- これまで大きな振れを伴いながらも下落傾向となっていた原油価格が、足元で反発をみせています。4月中旬のサウジアラビアやロシアなどによる産油国会合では増産凍結が見送られたものの、その後も原油価格は需給改善期待を背景に大きく上昇し、4月末には、2015年11月以来となる1バレル=45米ドル台(WTIベース)まで回復しました。
- 本レポートでは、足元の原油価格を取り巻く環境と資源関連株の動向について、ご紹介いたします。

原油価格の反発を受け、資源株や資源国通貨も急反発

<各コースの基準価額(税引前分配金再投資ベース)の推移>
(2015年1月初~2016年4月28日)



<1月の安値からの騰落率>
(2016年1月21日~2016年4月28日)



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

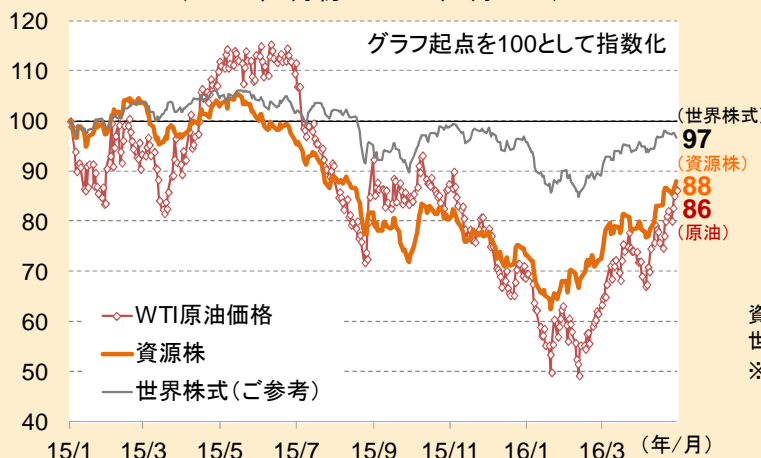
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

需給改善期待の高まりが、原油価格を押し上げ

- 原油価格の反発の背景には、需給改善への期待が高まったことが挙げられます。原油価格下落を背景に、エネルギー各社が投資削減を積極化させていることに加え、米国では、原油掘削リグ稼働数が2014年ピーク時の約1,600基から、足元で4分の1の水準となる約330基まで減少し、原油生産も頭打ちとなっています。
- 加えて新興国では、景気鈍化が懸念されるものの、経済成長に伴う生活水準の向上などを背景に、中国やインドの原油需要は過去最高を更新し続けています。世界全体での原油需要も緩やかながら増加基調が続くとみられており、これらが需給改善期待につながっています。

＜資源株と原油価格の推移(米ドルベース)＞
(2015年1月初～2016年4月29日)



原油価格上昇の主な背景

米国での
原油生産の減少期待

アジアを中心とした
堅調な資源需要

資源企業による
積極的な投資削減

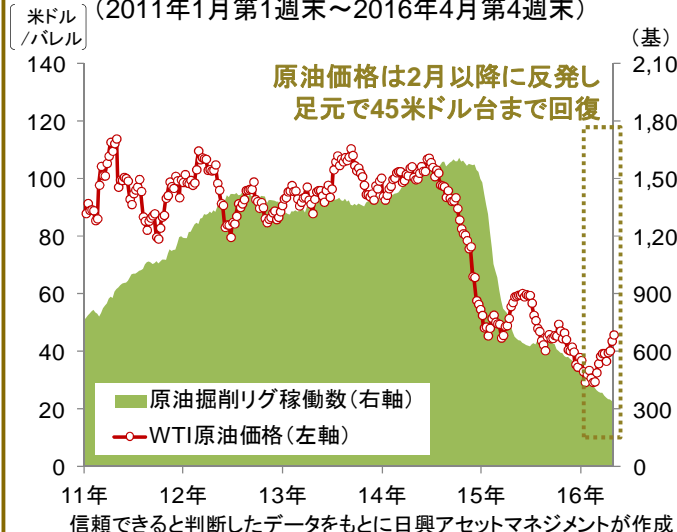
資源株: S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数
世界株式: MSCI AC ワールド指数

※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

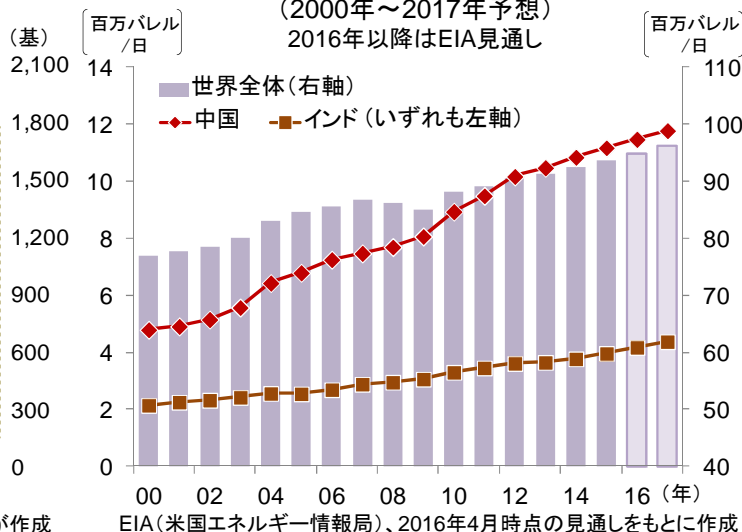
米国での生産調整の動きは原油価格に好影響

＜原油価格と米原油掘削リグ稼働数の推移＞
(2011年1月第1週末～2016年4月第4週末)



原油需要は中国・インド中心に過去最高を更新

＜原油需要の推移＞
(2000年～2017年予想)
2016年以降はEIA見通し



※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

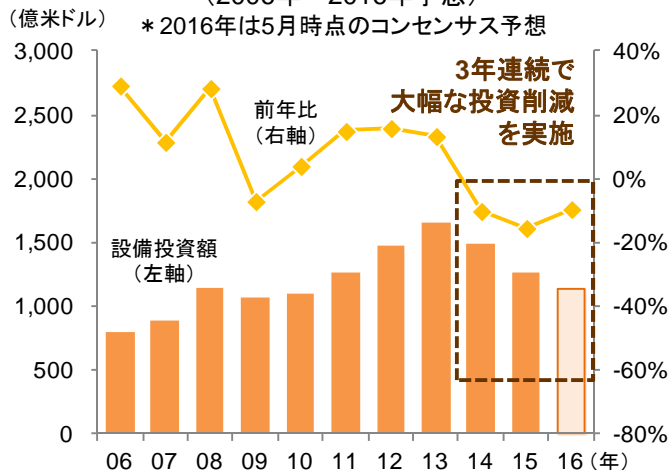
■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益回復とともに上昇が期待される資源株

- エネルギー企業は、原油価格の下落局面でも利益を創出させるべく、2014年以降、人員削減や資産売却、プロジェクト凍結などによる投資削減を積極化してきました。加えて、原油価格変動による業績への影響を軽減するため、ビジネスの分散化などの対応を進めてきました。
- こうした努力が奏功し、2016年1-3月期決算では、予想外の黒字決算や予想を上回る業績なども見られます。今後は、資源関連企業の業績が回復に転じると見込まれるなか、原油の需給改善期待が強まれば、資源関連株は、株価の割安感なども背景に、投資家の関心を集めるものと期待されます。

石油メジャーは投資削減の積極化で財務健全化を図る

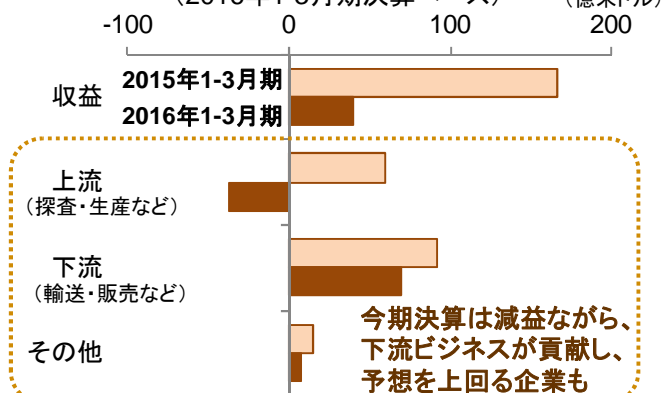
＜エネルギー大手5社(注)の設備投資額の推移＞
(2006年～2016年予想)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

石油ビジネスの分散も収益創出のカギに

＜エネルギー大手5社(注)の収益内訳＞
(2016年1-3月期決算ベース)

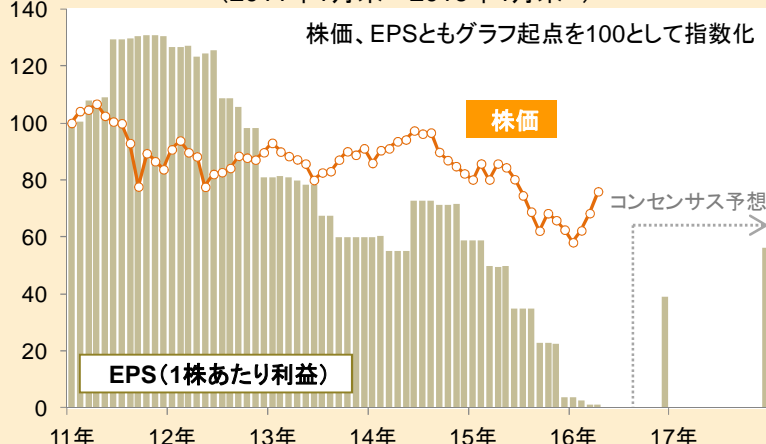


(注) エネルギー大手5社とは、エクソンモービル、シェブロン、ロイヤル・ダッチ/シェル、BP、トタルの合計値です。

各公表資料より日興アセットマネジメントが作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄の売買等を推奨するものでも、現在および将来の保有を約束するものでもありません。

＜資源株の株価とEPSの推移＞
(2011年1月末～2016年4月末*)



企業収益は足元を底に大きく改善が期待される

* EPSは2017年予想まで。

資源株：S&Pグローバル・ナチュラル・リソース指数(米ドルベース)

※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

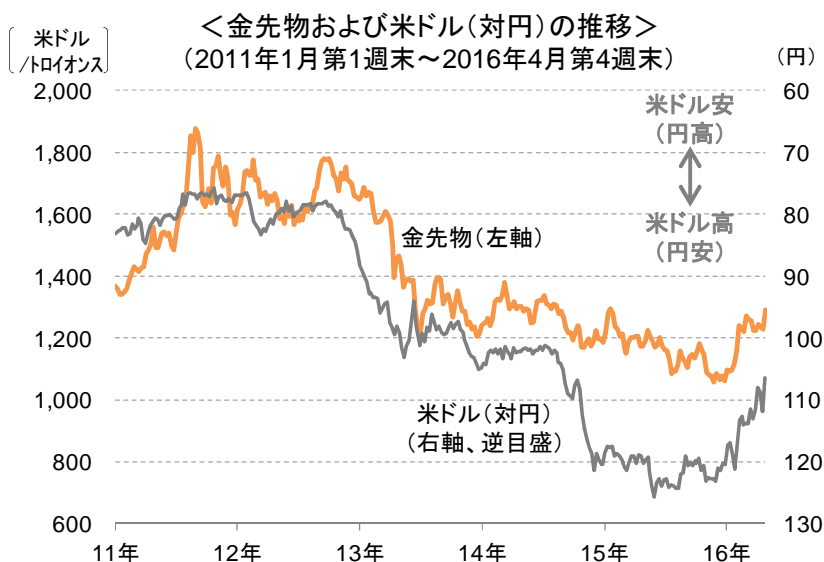
■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアル・コース＞＜南アフリカランド・コース＞＜オーストラリアドル・コース＞＜米ドル・コース＞(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考：金属資源の値動き

- 金属資源についても、2015年12月以降、鉄鉱石や銅の価格に反発が見られます。これは、世界最大級の金属消費国である中国での追加景気刺激策の導入を背景に、需要拡大への期待感が高まったことなどを受け、資金流入が加速したものと考えられます。
- なお、金属資源は供給過剰に加え、特に中国での需要に価格が左右されやすい傾向があるため、引き続き、中国の景気動向などには注視が必要と考えられます。ただし、投資環境に明るさが広がれば、実需増加への期待とともに、関連資源株への注目が増すものとみられます。



**鉄鉱石や銅など、
金属資源の価格も
昨年末以降に反転**



**米利上げ観測の後退や
米ドルの軟化などを背景に、
金価格は年初以降、
堅調に推移**

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアル・コース＞＜南アフリカランド・コース＞＜オーストラリアドル・コース＞＜米ドル・コース＞(毎月分配型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

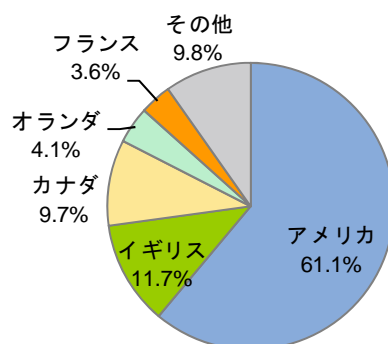
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2016年3月末現在)

業種比率

業種	比率
エネルギー	52.4%
素材	43.2%
金融 (REIT)	2.4%

国別株式組入比率



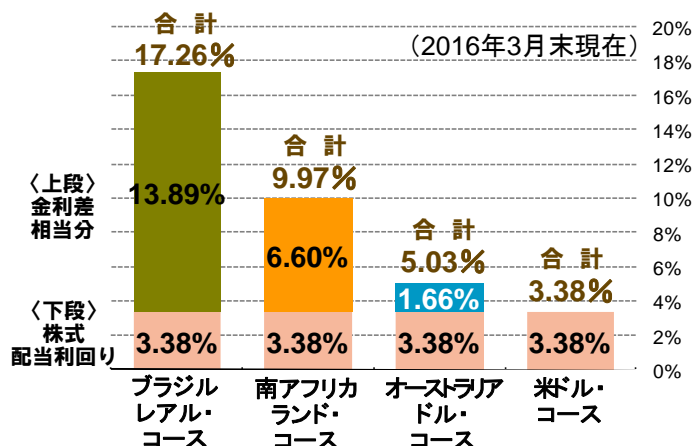
株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	4.46%
2	BHPビルトン	イギリス	素材	4.32%
3	ロイヤル・ダッチ/シェル	オランダ	エネルギー	4.12%
4	シェブロン	アメリカ	エネルギー	3.59%
5	トタル	フランス	エネルギー	3.57%
6	リオ・テイント	イギリス	素材	3.14%
7	インターナショナル・ペーパー	アメリカ	素材	2.92%
8	モンサント	アメリカ	素材	2.77%
9	BP	イギリス	エネルギー	2.61%
10	ウェアーハウザー	アメリカ	金融 (REIT)	2.43%

【銘柄数:70銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分:ブラジルリアル短期金利(CD(譲渡性預金証書)レート1ヵ月)、南アフリカランド短期金利(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月)、オーストラリアドル短期金利(1ヵ月物銀行手形金利)から、それぞれ米ドル金利(1ヵ月LIBOR)を差し引いて算出。
株式配当利回り:「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

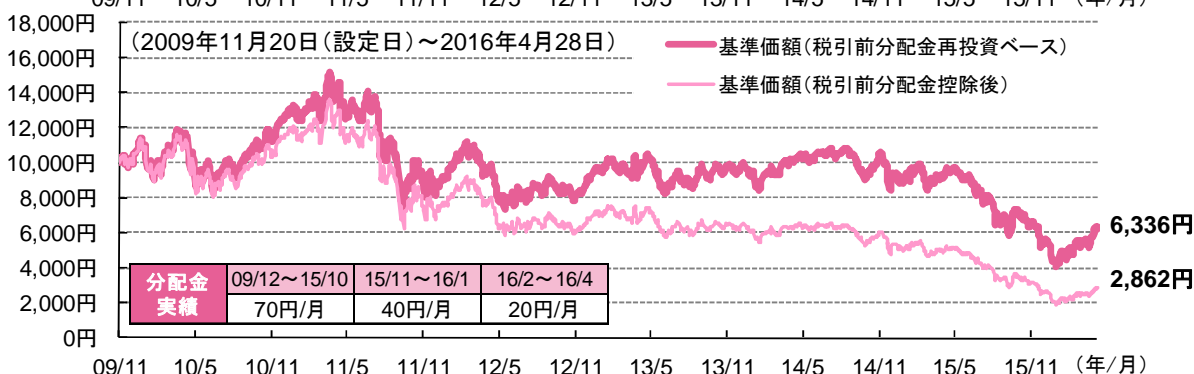
■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

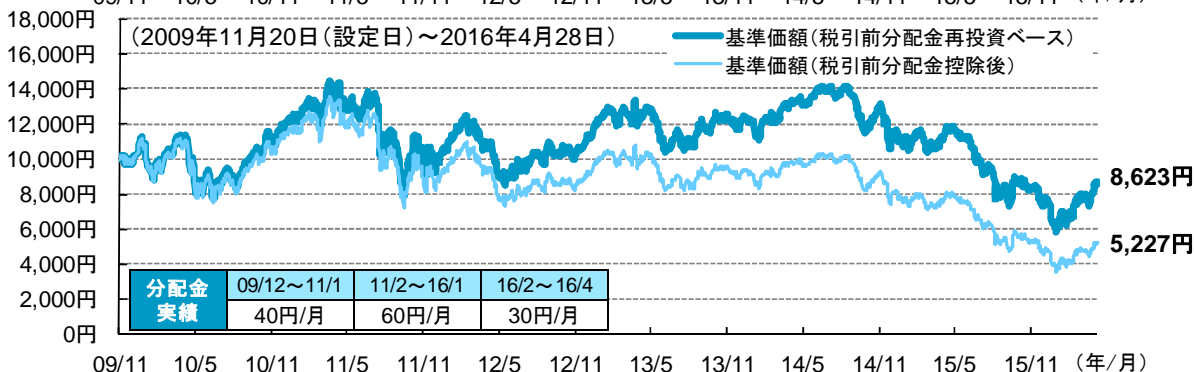
ブラジル リアル・ コース



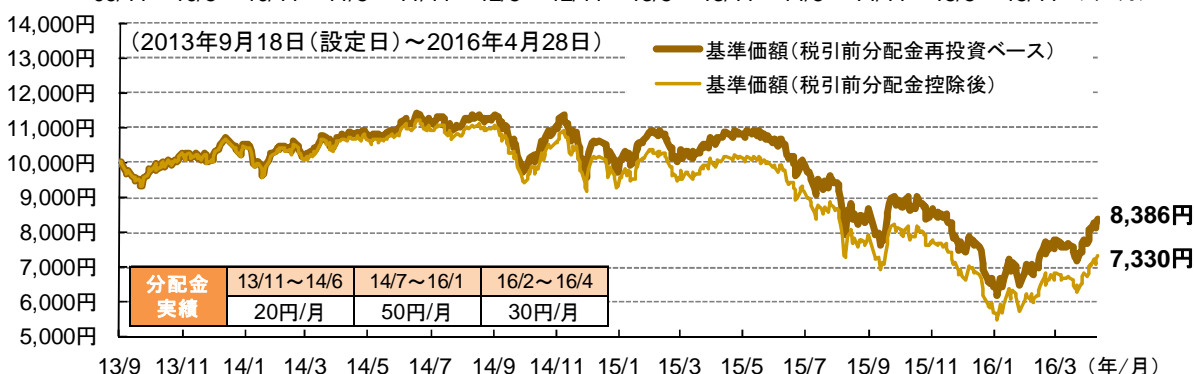
南アフリカ ランド・ コース



オーストラリア ドル・ コース



米ドル・ コース



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様には「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

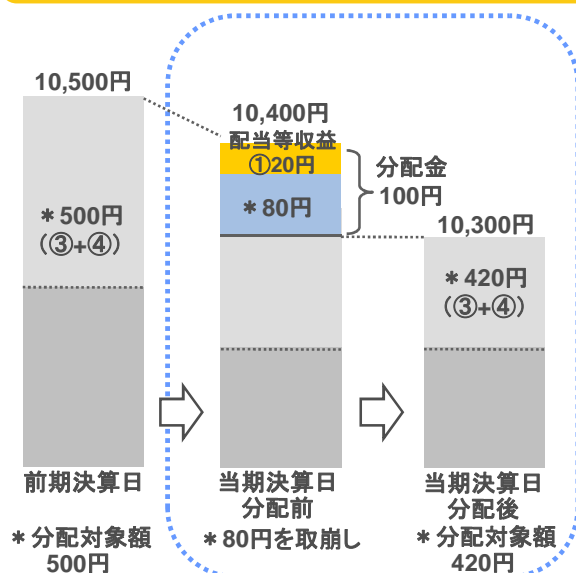
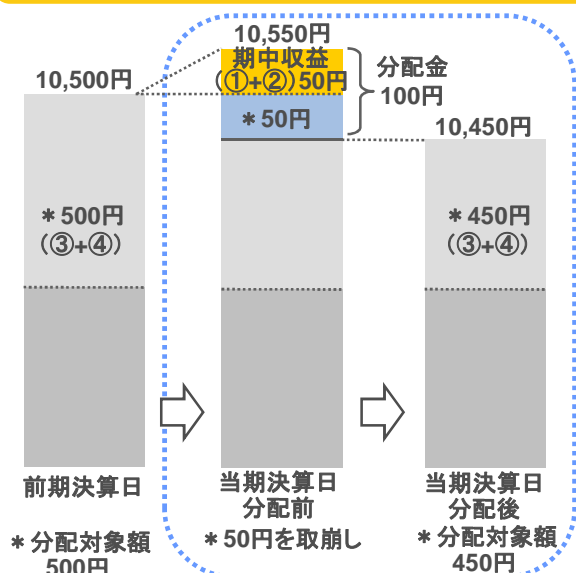


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

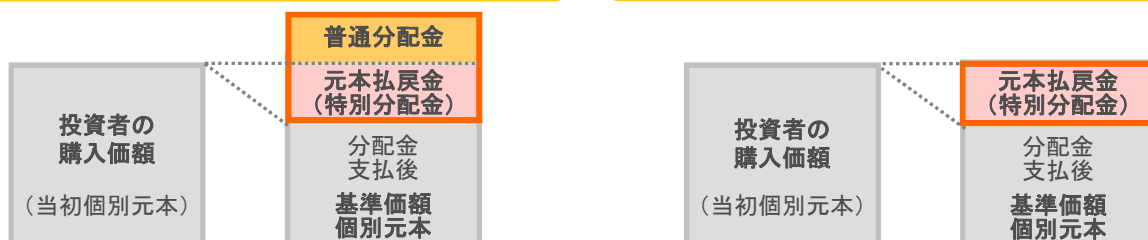


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

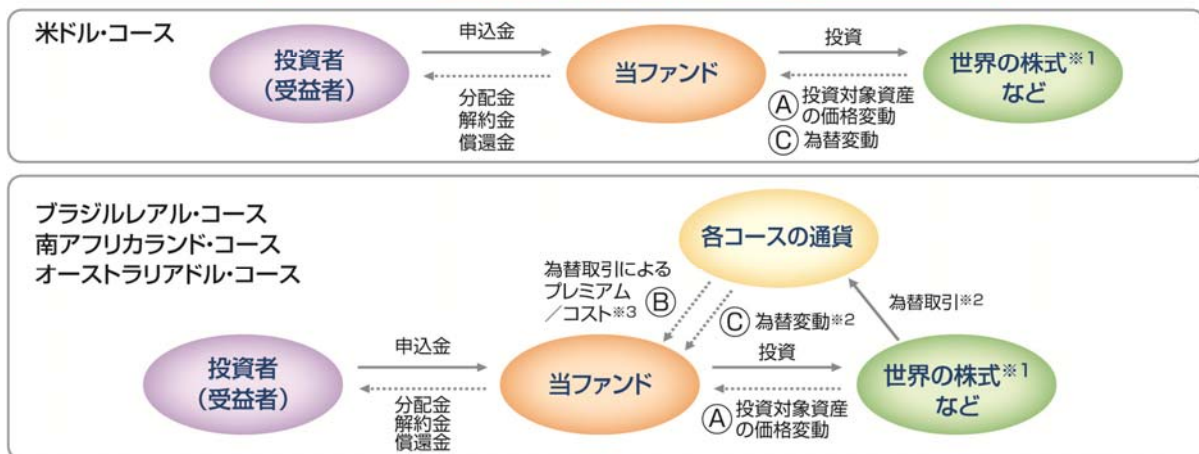
普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		為替ヘッジを行なわないのでありません。		為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*			為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高	
収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+ <td>(B) 為替取引によるプレミアム/コスト</td> <td>+ <td>(C) 為替差益/差損</td> </td>	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+ <td>(C) 為替差益/差損</td>	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が プラス		為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*		コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が マイナス		為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
 2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
 3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]http://www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(50音順、資料作成日現在)

お申込メモ

- 商品分類 追加型投信/内外/株式
- ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)
【米ドル・コース】
2024年6月17日まで(2013年9月18日設定)
- 決算日 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他費用 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【米ドル・コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。